

北山エリア整備に係るワークショップ（2回目）意見

テーマ：旧総合資料館跡地の舞台芸術・視覚芸術拠点に望むこと

<この文化施設にどのような機能があるとうれしいか>

【1班】

- ・ 発達障がいの子どもにも使いやすいホールになって欲しい。
- ・ この広さで、こども文化会館と文化芸術会館の両方の機能を入れるのは難しいのではないか。文化芸術を発表する機会が減らないようにして欲しい。プロもアマチュアも発表できるよう、ほどよい広さの舞台が複数あるといい。展示の場所がどれだけあるかも気になる。みんなが主役になる機会がある場所になって欲しい。見てもらえることで、その方向に進む子どもも出てくる。
- ・ こども文化会館の職員さんたちが、すごくステキだった。この人たちが体当たりでつくってきた DNA は、どこに宿るのか。引き継いで欲しい。
- ・ パーキングが少ないのが、北山通りが少し廃れた理由ではないかと思う。車道に車を停めなくてもいいように、大きな駐車場があればいい。
- ・ プロさながらの場所で発表ができると、気持ちがあがる。展覧会場も同様だと思う。
- ・ 展示×劇場を組み合わせても発表できたり、スポットライトもすみずみまで当たったり、フレキシブルに使えるといい。
- ・ 親子室があると、子どもが小さい時から芸術に触れられる。臨場感を味わいつつ、配慮もしてもらえるというのがいいが、実際には一般座席に比べてレベルが落ちるところもある。
- ・ 発達障がいの子どもたちは才能にあふれているのに、騒いだりするのでなかなか劇場などで受け入れてもらいにくい。彼らも入れるような場所ができたなら、ライブの空気に触れられ、才能の開花につながるかもしれない。
- ・ 子どもの音楽への入り口としてここがあり、ステップアップしたらコンサートホールに行くという流れがあってもいいのでは。

- ・ 音楽、美術、文化のまちだからこそ、文化芸術の DNA を継ぐためにも、小学生などが学校から見に行ける場所になって欲しい。
- ・ 舞台だけじゃなく、ワークショップができる場所になって欲しい。工芸、美術、演劇のワークショップなど、ここに行ったら何かおもしろいことがあると思える場所になるといい。
- ・ 「どこに行こうか？」と、プランを考えられるインフォメーション的な、おいしい素敵なカフェがあるといい。
- ・ 公演終了後の時間にも開いている、お酒も飲めるようなところがあると、終わってからその公演の話をするなど、余韻を楽しむことができる。サロン的な、だらだら溜まれる場所が、芸術家同士、芸術家と見る人、見る人同士のつながりをつくる。
- ・ 例えば、青山こどもの国には、カフェや、子どもたちが全身絵具だらけで楽しむようなエリアがある。こういう場に、京都出身の人や京都の芸大、シニアがからんだらおもしろいと思う。芸術に小さいうちから触れる機会にもなるので、施設の一部でもこういう使い方ができればいい。キッズランド的な場所があれば、子どもを預ける施設にもなり、親も、子どもからフリーになって芸術を楽しめる。ロームシアターには、青山こどもの国出身者がたくさんいるので、協力を仰いでもいい。
- ・ 誰がお金を出すかを考えられたら、いろいろできる。ネーミングライツなど、企業のアピールの場になれば、民間から募ることもできる。いい施設ができたら、みんな自ずと使い始めるので、応募する企業も多いと思う。京都の文化を京都の企業が支えるという構造になるといい。でも、公共性を保つために名前をあまり出さずに、実は〇〇がやっているらしいという方が、奥ゆかしい感じでカッコいい。

【2班】

- ・ 府立文芸会館の手仕事の部分などは残して欲しい。組織の中に専門家が必要だと思う。施設の耐震もしっかりして欲しい。
- ・ 宝ヶ池（宝ヶ池公園子どもプレイパーク）は、子ども向けだけれど、屋外なので、雨の日には使いにくい。

- ・ こども文化会館は閉館したが、いろいろな立場の人が行きやすい、子どもが参加できる場所が必要。ひとつの館として独立しなくても、ソフト的に作れば OK だと思う。移転しても、専門家による展示の機能は残して欲しい。
- ・ 今の展示方法は古いので、若人も参加しやすくするため、絵や写真など 2 次元の展示だけでなく、立体物やインスタレーションなどの 3 次元の造形にも対応した展示もできるようにして欲しい。
- ・ 利用者同士のつながりや、舞台や展示の自由度が欲しい。
- ・ 大規模ホールでないと街の活性化ができないという枠にとらわれないで、中規模ホールでどうすればできるかを考えたらいい。
- ・ 植物園も含めて楽しめる仕組みや、屋外音楽ホールなども併せた複合的施設、飲食店でのイベント、伝統を伝える伝承の場などもあればいい。
- ・ 楽しいだけでなく怖い体験もあるかもしれないが、子どもが生の体験をできる場が必要だと思う。
- ・ 待ち合わせて行って、芸術鑑賞や会話、食事、お茶など全てを楽しめるようにして、1 日エリア内で楽しめるような場所になるといい。
- ・ 子どもに生の舞台をみせたいので、子どもと一緒にいけるような劇場にして欲しい。

【3 班】

- ・ 大学に在学中は、旧総合資料館に日本画を展示したことがあるが、卒業後は発表の場がない。
- ・ エントランスやランドマークになれば、色々な人が出入りし、学生やいろいろな作家も使える芸術発信の場になり、京都市内だけでなく、外との交流にもなる。
- ・ 陶芸をやっていて、年 1 回、文芸会館で展示をしているが、展示台の老朽化が気になる。
- ・ 子どもの体験の場となれば、活動はもっと広がるのではないか。
- ・ 今の文芸会館では分かれているが、舞台と展示の交流ができるようになるといい。

- ・ 京都は陶器の町だが、販売の場の形態が、日本と海外では異なり、日本ではオープンレセプションしか飲食ができないので、販売につながらない。海外なら飲食しながら展示販売できるので、日本でも、飲食しながら、見て、買える場になればと思う。五条坂のスペースもなくなってしまった。
- ・ 知らないものを知りたいので、無形なものを見て学べる場になって欲しい。
- ・ 子どもが支援学校に通学しているが、一般の学校の子もたちとの間に壁を感じる。障がいのことを学ばなきゃではなく、一緒に歌ったり触れ合ったりすることで、その垣根を越えられる。健常の人が障がいのある人から学べることも多いのではないか。
- ・ 展示物に触れてはダメとなると、距離をとってしまうのがもったいない。触れるようにするのもいいのではないか。
- ・ 芸術とは、夢を売るものなので、敷居を低くして、体験できるきっかけを増やして欲しい。
- ・ 芸術系の学校を卒業しても、先につながらない。自由に発表、展示できる場所が欲しい。滋賀にある障がい者アートを常設展示するボードレスミュージアムのような場所があってもいい。
- ・ 京都・日本といえばここと言われる、ランドマークとなるようなカッコいい建物になって欲しい。
- ・ 金沢近代美術館はすごくいい。京都に来てほしかった。
- ・ 写真映えスポットをエントランスに設えると、来場者が撮影してSNSで発信し、この場所のことが広まり、「文化や絵って、おもしろい」と感じてもらえるのではないか。これなら、文化芸術に興味ない人にも知ってもらえる。
- ・ 京都の戦前の建物を、守るというより攻めとして活用してはどうか。
- ・ 文化は自由なもの。組合という組織は、足の引っ張り合いになりがちで、世界で活躍する人が減るのではと心配している。この施設は、誰でも気軽に入れるボードレスな場になって欲しい。待ち合わせの場など日常の1ページになったり、アートショップで作品を購入できたり、学生展示などがあるとよい。

- ・ 今、京都には公募展がない。1回やって終わりではなく、今の世界に求められている芸術がどんなものかを問うような、芸術界のM1をつくりたい。
- ・ イタリアに行った時、みんなが触って足の甲が凹んだマリア像を見た。作品の前に柵がなく、境がないことが逆に、作品を大切に作る心を育てる。
- ・ 小学校から美術館へ行く機会が少なく、教える人も少ないのが残念。
- ・ 芸術体験、きっかけづくりとして、小学生に展示を評価してもらうのも、おもしろいと思う。〇〇賞受賞の人だからすごいではなく、純粹に小学生の感性で審査する。親子で来る人が増えそう。
- ・ 当たり前すぎて気づかないが、京都には、文化の魅力が詰まっている。
- ・ 芸術家が滞在しながら作品作りができる「アーティスト・イン・レジデンス」の機能があるとよい。
- ・ 一般府民が安価で借りられるようにしてほしい。

<北山のエントランスとして、付帯施設や周辺にどのような機能があるとうれしいか>

【1班】

- ・ 出演者にとって、公演の間に託児ができるかどうかは大きな問題になるので、託児できる場所があるといい。キッズルームや、会議室でも託児用に使えればOK。
- ・ 劇場に行くまでのあいだをどう使うかが課題。お芝居ができた、音楽ができた、施設の外の空間、広場が、チャレンジできる場所になるといい。
- ・ 樹齢100年の木もあるという植物園の木々は、切らずに大切にしたい。すぐには作れないものだから、未来のためにも死守しないといけない。芝生も、植物のDNAも残して欲しい。
- ・ 楽器を運んだり、混雑を回避したりするためにも、地下鉄から上がる所に大きな広さのあるエスカレーターや、エレベーターは必ず必要になる。

- ・ 北山駅の地下通路を、チャレンジングなことができる広場にしてはどうだろうか。府民の作品ギャラリーにして無料で展示できるようにし、大学生や子どもの作品も展示する。オンライン決済でも買えるようにすれば、芸術を仕事にしたい人のきっかけになる。スポットで有名な人も参加することで、この場所の知名度も上がる。ここからスターが生まれるような場になればいい。そのためにも、地下通路だからと薄暗くせず、広く、明るく、ものすごくきれいな通路にして欲しい。
- ・ 一時的な消費的なイベントではなく、コンスタントに着実に人が来る場所になって欲しい。そのためには無料でたくさんの人を呼ぶのではなく、コンスタントに通うリピーターやファンを大事に考えたい。
- ・ 北山にパーキングをつくるのは現実的ではないので、パーク&ライドをもっと推し進めて欲しい。パーク&ライドを含めたスタンプラリーとか、地下鉄チケット付きのパーキングを、周辺エリアにつくる。これを本気でできたらいいと思う。

【2班】

- ・ ハイシーズンは賑やかだけど、オフシーズンには静かになるのではなく、常に人が居る場所になって欲しい。
- ・ コレが北山！という施設がない。
- ・ 年配者が教える子ども教室、アトリエ教室、木工教室、演劇教室など、2~3時間、子どもの面倒を見てもらえるところがあるといい。子どもは楽しく習い事をし、その間にママはキレイになれるなど、親も子どもから少し離れて楽しめるといい。
- ・ 体験があると視点が変わり、施設見学ももっと楽しめる。
- ・ 飲食ができないこともあり、夜は治安が悪く怖い印象なので、賑わいが必要だと思う。
- ・ 裏方など、芸術を支える人々の姿を見ることができる場所にもなるといい。
- ・ 1日に2,000人を呼ぶイベントより、1日200人が10日続くようなイベントがうれしい。

- ・ 芸術は発想・アイデアを深め、スポーツは体を動かすことで健康になれる。種々のジャンルを混ぜて体験できたり、見せたりできるといい。
- ・ 再整備が進む今が、よいチャンスになる。
- ・ 北山エリアは、大学生や若い家族が多い住宅地であり、人が来すぎると家にこもりたくなるので、そこそこの賑わいがいい。
- ・ 観光のピークするとき、宿泊難になるので、小規模な宿泊施設があるといい。
- ・ 車移動が難しく、タクシーも少ないためなかなか来ない。
- ・ 駐車場難民になってしまうので、パーキングを増やして欲しい。
- ・ 北山に来れば〇〇があるというようなアピールができればいい。
- ・ 割引など、地域と連動する仕組みがあるといい。
- ・ スタバなどゆっくりお茶を飲める場所や、待ち合わせ場所にもなる施設があるといい。
- ・ パフォーマンスを披露できるスペースが欲しい。
- ・ オンライン化で直接行かないといけないというような障壁がなくなった今、リアルの良さもあると、わざわざ行く必要性を感じてもらわないといけない。周辺の飲食店としては、来て欲しいと思う。目的なく行くのも楽しい場所になるといい。

【3班】

- ・ 駐車場を安くして欲しい。
- ・ 「植物園×アート」のような取り組みがあってもいい。例えば、子どもたちは外で走る方が好きなので、彫刻の遊具や田んぼアートなど。プロジェクションマッピングなどで現代アートと融合した、体験型植物園というのもおもしろいのではないか。